

# 予算概要

## 予算総額は109億2,078万円

### 予算の概要

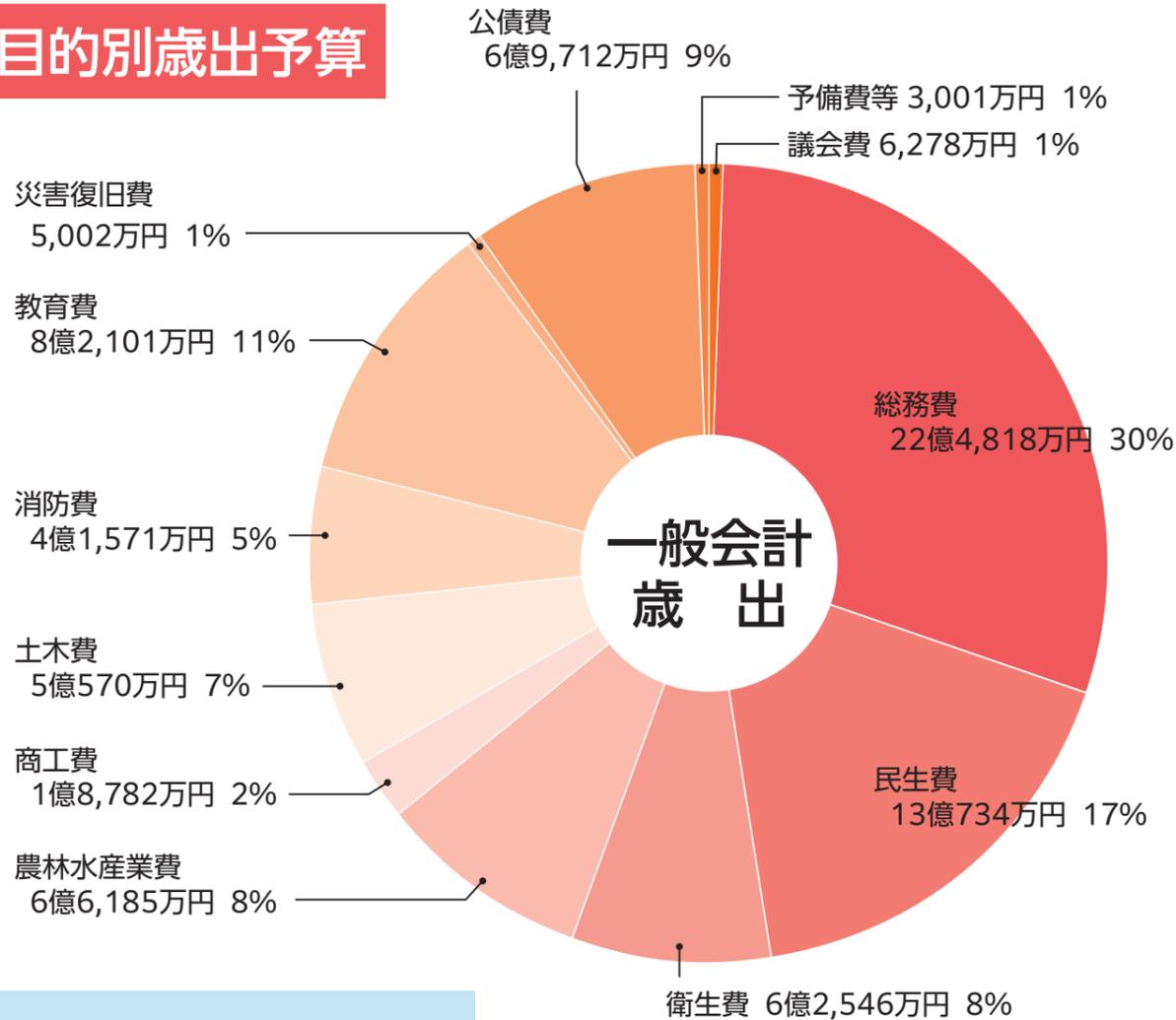
| 区分                 | 予算額            | 前年度予算額       | 増減額          | 増減率     |       |
|--------------------|----------------|--------------|--------------|---------|-------|
| 一般会計               | 76億1,300万円     | 63億6,600万円   | 12億4,700万円   | 19.6%   |       |
| 特別会計               | 国民健康保険         | 10億1,200万円   | 9億8,600万円    | 2,600万円 | 2.6%  |
|                    | 地域振興券交付事業      | 4,120万円      | 4,200万円      | △80万円   | △1.9% |
|                    | 介護保険           | 11億7,400万円   | 11億7,900万円   | △500万円  | △0.4% |
|                    | 後期高齢者医療        | 1億7,650万円    | 1億5,650万円    | 2,000万円 | 12.8% |
|                    | 特別会計計          | 24億370万円     | 23億6,350万円   | 4,020万円 | 1.7%  |
| 公営企業会計<br>(簡易水道事業) | 9億408万円        | —            | —            | —       |       |
|                    | (5億7,420万円)    | (4億9,900万円)  | (7,520万円)    | (15.1%) |       |
| 合計                 | 1,09億2,078万円   | —            | —            | —       |       |
|                    | (1,05億9,090万円) | (92億2,850万円) | (13億6,240万円) | (14.8%) |       |

※簡易水道事業は参考値として予算額に単年度予算要求額、その他は前年度会計・増減を予算規模を比較できるように記載しています。

**歳出** 歳出では、引き続き、地域活動の推進、基幹産業である農林業の振興、道路整備、防災対策、学校や子育て生活環境整備などを推進し、「[活力]をカタチに みんなの思いが 活きる つながる 広がるまち」を念頭に編成しました。庁舎建設及び学校建設に係る予算を計上したこと等により一般会計は過去最大の予算規模となりました。また、各施設の維持管理、修繕事業の実施なども予算の増加の要因です。引き続き、安心して住みよく、活気のあるまちづくりを進めます。

目的別予算では、庁舎建設に係る経費を含む総務費が最も多く、性質別予算では、人件費・扶助費・公債費といった義務的経費に次いで道路等公共施設の整備に係る投資的経費が多くなっています。

### 目的別歳出予算



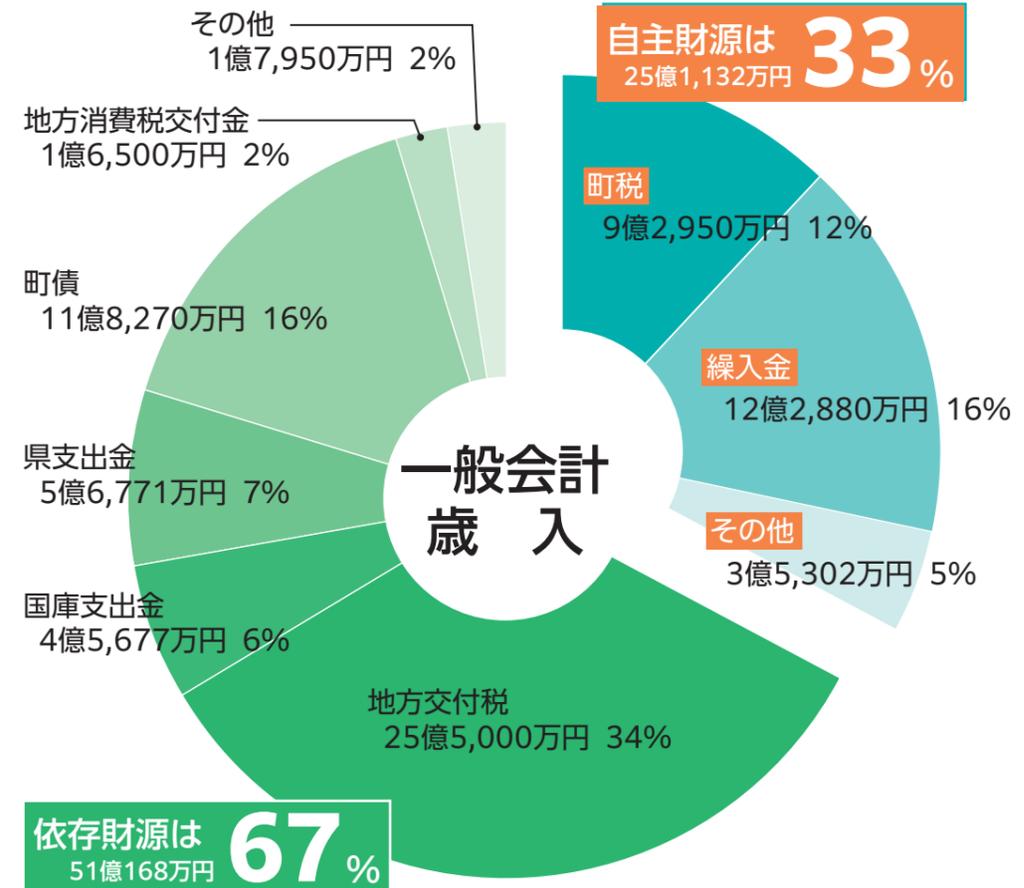
### ●簡易水道事業は公営企業会計に移行しました

簡易水道事業は、長期的に安定した事業を運営するため、令和6年度よりこれまでの「特別会計」から地方公営企業法を適用した「公営企業会計」へ移行しました。

今後はさらに経営状況を明確にし、中長期計画を立てながら、適正な財産管理、事業運営を進めていきます。

### 性質別一般会計

| 区分                     | 金額         | 割合   |
|------------------------|------------|------|
| 義務的経費 人件費、扶助費、公債費      | 24億1,972万円 | 32%  |
| 物件費 光熱水費や印刷製本費、委託料等    | 13億1,465万円 | 17%  |
| 補助費 各種助成金、可茂消防事務組合等負担金 | 10億9,932万円 | 15%  |
| 投資的経費 道路等公共施設の新設、改良事業  | 20億7,844万円 | 27%  |
| 特別会計等への出資金             | 5億3,552万円  | 7%   |
| その他 維持修繕、積立金、出資金、予備費等  | 1億6,535万円  | 2%   |
| 合計                     | 76億1,300万円 | 100% |



**歳入** 一般会計の歳入は、町民税や固定資産税等といった「町税」、市町村の財政力に応じて国から交付される「地方交付税」を財源の中心とし、国や県の補助金や交付金、過疎債や辺地債といった有利な起債(町の借金)をできる限り活用していきます。目的を持って積み立ててきた基金の内、庁舎整備基金を活用するため自主財源の内、基金繰入金が増加となっています。

自主財源は25億1,132万円で33%。依存財源は51億168万円67%となっています。

予算は年度ごとに立てられる歳出と歳入の計画で、施策や各種事業を進める上で欠かせません。今年度は庁舎建設事業などの大型プロジェクトを実施する予定があり、一般会計の当初予算額は過去最大となりました。令和6年度も町の第6次総合計画の5本の柱にある「地域資源」「生きがい」「安全安心」「ふるさと愛」「つながり」といったキーワードを中心にしたまちづくりを行っていきます。



**新規 地域通貨システム導入事業**

美濃白川カード会の買い物ポイントカードに、地域振興券や現金をチャージしてキャッシュレスで買い物ができる、ポイントも付く「地域通貨システム」にバージョンアップして、地域での買い物を支援します。 2,810万円

**防災行政システム整備事業**

防災行政無線デジタル親局設備及び音声告知放送システムを更新します。 1億4,250万円

**庁舎整備事業**

令和7年度の開庁に向けて、新庁舎建設工事を進めていきます。 11億7,068万円

Ⅲ. 最新技術と情報を安全・安心な暮らしに活かす

**新規 小・中学校一貫教育推進事業**

新しい学校づくりの検討と、校舎建設に向けた詳細な計画づくりに取り組みます。 1億6,879万円

**高校生通学支援事業**

町内からJRを利用して高校へ通学する学生の通学費用を支援します。 432万円

**青少年海山交流事業**

沖縄県宮古島市との青少年の体験と交流を通して、青少年の成長と地元白川町の魅力の再認識を促進します。 240万円



Ⅳ. ふるさと愛を育み次世代のまちづくりに活かす

**移住定住・交流推進事業**

移住交流サポートセンターと連携して、空き家活用及び移住支援・地域内外の交流を図ります。 3,202万円

**副業人材活用事業**

様々なスキルや発想を持った「兼業・副業」可能な人材を活用して、町内企業の経営支援、課題解決、交流人口の増加につなげます。 260万円

**新規 定住促進住宅支援事業**

新築、空き家等の購入、高校生以下の子育て世帯の住宅改修を支援します。 790万円

Ⅴ. 住み続ける人、住みたい人の良さ、つながりを活かす



令和6年度の

**主な事業**をご紹介します

令和6年度は第6次総合計画に取り組み始めて4年目です。町では総合計画のテーマ「[活力]をカタチにみんなの思いが活きる つながる 広がるまち」を実現するためにさまざまな事業を行っていきます。

ここでは総合計画の5つの柱ごとに、令和6年度の主要事業や新たな取り組みの一部をご紹介します。



**新規 茶園集積支援事業**

茶園の集積・集約化を図り、お茶の産地としての生産量を確保して、生産を続ける農業者を支援します。 200万円

**町有林管理事業**

森林経営計画に基づき、庁舎建設用の木材利用により伐採した町有林の植栽などを行い、森林資源の循環利用を図ります。 5,678万円

**特定地域づくり事業協同組合交付金**

企業や農林業の新たな担い手を作る取り組みを行う、白川ワークドット協同組合の事業運営に対して交付金を交付します。 1,186万円

Ⅰ. 産業・経済の循環に地域資源を活かす



**新規 保健衛生総務費**

栄養士を配置して、町民の方の栄養管理を中心とした健康づくりの充実に取り組みます。

**子育て応援給付事業**

出産祝いのほか、満1歳、小学校入学、中学校入学を機に地域振興券を支給して、育児環境の向上と子育て世帯の定住を推進します。 833万円

**高齢者交通安全等対策事業**

自動車運転免許を持たない高齢者などの外出支援の対策として、シニアカーの購入費を助成します。 300万円



Ⅱ. 生きがいと活躍の場を作り、健やかな暮らしに活かす